

# 議会だより かどがわ

NO.140

10  
October.2014

門川町議会広報



三姉妹 夏の思い出

平成25年度決算 .....	2 P
平成26年度補正予算 .....	3 P
委員会決算審査報告 .....	4 P
一般質問 5人が登壇 .....	7 P
委員会視察調査報告 .....	1 3 P



# 平成26年度一般会計補正予算(全員賛成) 乙島施設整備, 予防接種事業など

**歳入・歳出とも 1億9748万8千円を追加**  
**歳入・歳出総額 72億2031万1千円**

## 主な歳入

(金額は万円未満を省略しています)

地方交付税……………8627万円  
国庫支出金……………1473万円  
県支出金……………2787万円  
繰越金……………6271万円  
町債……………590万円

## 主な歳出

(金額は万円未満を省略しています)

乙島施設整備事業等……………2180万円  
南町近隣公園トイレ整備事業…1360万円  
心の杜公園駐車場整備工事等…2000万円  
町制80周年記念事業……………640万円  
システム整備事業(マイナンバー制度)  
……………2151万円  
予防接種事業(成人肺炎球菌ワクチン等)  
……………1217万円  
林道大池小切畑線舗装工事等…2600万円  
松瀬・川水流線災害復旧事業等…2169万円

## 特別会計補正予算(全員賛成)

### 国民健康保険事業

歳入歳出に1億6645万2千円を追加し歳入歳出総額29億1185万6千円とする。

#### 主な歳入

(金額は万円未満を省略しています)

医療給付費交付金……………907万円  
繰越金……………1億3364万円  
諸収入……………2030万円

#### 主な歳出

システム改修……………216万円  
基金積立金……………5000万円  
償還金および繰出金…2999万円  
予備費……………8274万円

### 簡易水道事業

歳入歳出に43万7千円を追加し歳入歳出総額を1405万3千円とする。

(金額は万円未満を省略しています)

**主な歳入** 繰越金……………39万円  
**主な歳出** 総務費……………14万円  
予備費……………29万円

### 後期高齢者医療

歳入歳出に1404万8千円を追加し歳入歳出総額4億1108万9千円とする。

#### 主な歳入

(金額は万円未満を省略しています)

給付費などの繰入金…1267万円  
繰越金……………137万円

#### 主な歳出

医療広域連合納付金…1269万円  
一般会計繰出金……………106万円  
予備費……………26万円

### 介護保険事業

歳入歳出に6788万6千円を追加し歳入歳出総額15億9263万8千円とする。

#### 主な歳入

(金額は万円未満を省略しています)

支払基金交付金……………108万円  
繰越金……………6700万円

#### 主な歳出

基金積立金……………3219万円  
償還金……………2017万円  
一般会計繰出金……………806万円  
予備費……………766万円

## 9月定例会

## 平成25年度決算

### 一般会計の認定案件を賛成多数で認定 賛成12 反対1

平成26年第3回定例会は、9月9日から22日までの14日間、開きました。

本定例議会において、諸報告2件、任命同意1件、和解1件、条例制定3件、契約締結1件、補正予算5件、決算認定6件、剰余金処分1件、議員発議4件、(計24件)が審議され、議員発議1件を否決、他は、原案通り可決しました。一般質問は、9月10日に5人が登壇し、町政について論戦を行いました。

## 平成25年度一般会計の決算概要

### 予 算

当初予算	63億6000万円
国庫補助の決定等に伴う補正	9億3734万4千円
最終予算	72億9734万4千円(前年度比2.9%の増)

### 決 算

歳入	73億9586万円	歳入決算額は、前年度比5.8%の増 (歳入の割合) 地方交付税 33.8% 前年度比0.0% 町 税 19.9% 前年度比0.1%の増 国庫支出金 12.1% 前年度比27.3%の増 県支出金 9.9% 前年度比22.1%の増
歳出	71億6207万2千円	
差引額	2億3378万8千円	

自主財源 34.7%(25億6943万3千円)前年度36.4%  
依存財源 65.3%(48億2642万7千円)前年度63.6%  
町民一人当たり町債残高280,000円(前年277,000円)

## 平成25年度特別会計・水道会計を全員一致で認定

会計名	歳入	歳出	差引
国民健康保険事業	28億1441万4386円	25億8077万4179円	2億3364万207円
後期高齢者医療	3億8034万5240円	3億7773万7339円	260万7901円
介護保険事業	15億717万6414円	14億3716万8272円	7000万8142円
簡易水道事業	1004万7901円	865万7075円	139万826円
水道事業	3億198万4316円	2億7146万9633円	3051万4683円



総務財政常任委員会

本委員会に付託された、平成25年度一般会計歳入歳出認定について、各課担当職員より関係資料の説明をもとに慎重に審査しました。採決の結果全員異議なく認定するものと決定しました。

議会事務局

歳出の主なもの
議会費 9353万7133円
議員報酬 3650万4000円
共済費 2187万1973円
旅費 278万710円
公平委員会費 31万4040円
監査委員費 128万3680円



心の杜視察
ハレットボイラー

税務課

歳入の主なもの
町税収入 14億7077万3334円(前年度比増)
個人町民税 4億9751万3775円(減収)
法人町民税 8766万2000円(減収)
固定資産税 6億4840万5819円(増収)
その他 軽自動車税、たばこ税等

主な質疑

町税の収納率が現年課税分0.37ポイント、滞納繰越分が4.22ポイント上昇しているが、収納率向上要因は、職員研修において、滞納者に対する納税交渉の態度や徴収方法の習得、また、税の公平性等に対する職員の意識向上、町民税の特別徴収等があげられる。
問 一般管理費の中に、自治会活動保険加入補助金と保険料として、ボランティア保険と総賠償保険があるがその違いは。
答 自治会活動保険は、町主催の行事や地区の行事に参加中に負ったケガ等に対する保険。ボランティア保険は町所有の施設や敷地内等でのボランティア作業中のケガ等が対象。
総合賠償保険は第三者が被った損害で、本町に損害賠償責任が発生した場合に対応する賠償保険。

(記 森)

総務課

歳入 1億16万6802円
歳出の主なもの
一般管理費 4億10万7461円
人件費関係 3億3527万6943円
地区会長活動事業 1853万9663円
その他の経費 2901万9181円
公用車管理事業 640万6839円
文書広報費 1105万381円
常備消防費 2億1923万9000円
非常備消防費 3589万3972円
選挙費 1820万5483円

企画財政課

歳入 40億2874万2919円
地方贈与税 6571万2000円
地方交付税 24億9991万9000円
国庫支出金 9353万2000円
繰入金 3億5145万6000円
町債・繰越金等
歳出の主なもの
一般管理費 500万859円
財産管理費 7億7333万7113円
企画費 2140万4493円
心の杜管理費 1億6384万6226円
公債費の元金・利子 4億8877万2801円

会計課

歳入
県証紙売りさばき手数料 8万8198円
歳出
領収書印刷、収納業務手数料等 347万4737円

文教厚生常任委員会

付託された平成25年度一般会計決算及び3の特別会計歳入歳出決算認定について、関係課の審査を行い、原案どおり認定すべきものと決定しました。

一般会計

歳入の主なものは国庫支出金2593万円、諸収入397万円。歳出の主なものは、幼稚園就園奨励補助や中学校海外派遣補助金1908万円、門川・草川小学校屋上避難整備工事および非構造部材耐震対策工事請負費等の5545万円。



現地調査(草川小学校)

本文中の金額は、万円未満を切り捨てています。

福祉課

地域・介護福祉関係の主な歳入は、国庫および県支出金5億1696万円、歳出では、重度障がい者医療費助成事業、生活介護費、就労継続支援等の26事業や養護老人ホーム入所者等の扶助費、6億1854万円および国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険事業の3の特別会計への繰入金7億2148万円が主なもの。子育て支援関係の歳入の主なものは、負担金1億1014万円、国庫および県支出金6億4243万円。

教育総務課

歳入の主なものは国庫支出金2593万円、諸収入397万円。歳出の主なものは、幼稚園就園奨励補助や中学校海外派遣補助金1908万円、門川・草川小学校屋上避難整備工事および非構造部材耐震対策工事請負費等の5545万円。また、中学校各種大会派遣事業では県中学校体育大会等の14種目、延べ428人に派遣費を補助しました。

社会教育課

歳出の主なものは、文化および体育施設の指定管理者委託料6986万円。今年度は、門川魅力発見塾を開塾。

教育総務課

また、自治公民館改修や地区放送施設整備等の補助を行っています。

海浜公園のテニスコート改修や武道館サッシ改修等、町内体育施設やスポーツ環境の維持管理に努め、健康と体力づくりを推進しています。

図書館費の図書購入は、2154冊で、このほか在東京門川町人会からの寄付で図書を購入しています。

町民課

歳入総額は、手数料、国庫および県支出金等2023万円。歳出では妊婦や乳幼児健康診査、予防接種

特別会計

国民健康保険事業
歳入総額28億1441万円に対し、歳出総額は25億8077万円です。実質収支額は2億3364万円、単年度収支額は6155万円、黒字決算となりまして。これは普通調整交付金や収納率が増えたことによるもの。しかし被保険者数の減少、一人当たりの医療費が年々増加しているため、各特定検診の受診率向上にさらなる努力が必要です。

後期高齢者医療

歳入総額は3億8034万円、主なものは保険料9896万円と繰入金2億6569万円。歳出総額は3億773万円、主なものは広域連合への納付金3億5636万円。歳入総額は15億717万円で、保険料2億5433万円、国庫支出金3億6585万円、県支出金1億9822万円、支払基金交付金3億7915万円および繰入金2億4690万円が主なもの。歳出総額は14億3716万円で、主なものは保険給付費で13億14万円。介護認定者数は、平成26年3月末で878人です。

委員会として

国民健康保険事業では黒字となりましたがまだまだ財政運営が厳しい状況であります。地方経済を取り巻く環境は、依然厳しい状況におかれています。財源確保と効率的な行政運営により住民福祉の向上にさらに努めるよう要望するものです。

町民課

歳入総額は3億8034万円、主なものは保険料9896万円と繰入金2億6569万円。歳出総額は3億773万円、主なものは広域連合への納付金3億5636万円。歳入総額は15億717万円で、保険料2億5433万円、国庫支出金3億6585万円、県支出金1億9822万円、支払基金交付金3億7915万円および繰入金2億4690万円が主なもの。歳出総額は14億3716万円で、主なものは保険給付費で13億14万円。介護認定者数は、平成26年3月末で878人です。

質疑

(福祉課)
問 ファミリーサポートの会員数は。
答 員を募集して会員も増えてきており、現在お願いの会員と合わせて約100名である。

(教育総務課)
問 全国瞬時警報システム連動工事の進捗状況は。
答 平成25年度は設置のための接続工事、26年度の夏休みで全ての小中学校に設置済みである。

(社会教育課)

問 図書館の閉館日は年何日か。
答 平成25年度は毎週月曜日と毎月1日、図書システム整理の14日間などの合計83日である。

(町民課)

問 がん検診の日程で土日日の受診者の状況は。
答 土日が多いと予想していたが、実際実施してみると月曜日が多かった。

(記 森川)



本委員会に付託された認定第1号平成25年度一般会計決算認定。認定第5号簡易水道事業特別会計決算認定及び認定第6号水道事業会計決算認定について委員会審査を行い、採決の結果、賛成多数で原案通り可決した。

産業振興課

農業振興費1848万5649円は、今後の門川町の担い手としての認定農業者や農業後継者、新規就農者等を育成し支援を行う担い手支援対策事業1431万9387円が主。畜産業費727万2014円は、家畜伝染病防疫対策事業として、ブローラー農家や繁殖牛農家等に消毒薬880袋を配布した他、家畜農家に対し、補助金を交付し、経営の安定を図った。

290円の主なものは竹名・中村トンネル工事等の広域農道整備事業負担金、4308万9千円。林業振興費は5250万1680円で、主なものは、森林総合整備事業貸付金1777万2284円。耳川林業事業協同組合への出資金2540万円となっている。

建設課

土木総務費1927万2002円の主なものは、住宅耐震補強及び改修事業に936万5千円。道路橋梁総務費629万7338円の主なものは、コモ田踏切安全対策事業に314万5021円。道路維持費4024万3535円の主なものは、商工会運営事業へ補助金595万3千円、中小企業小口融資預託金事業1400万円等である。

のは、商工会運営事業への補助金595万3千円、中小企業小口融資預託金事業1400万円等である。地域振興費618万円は、門川産業振興券補助事業の補助金578万円が主なもの。圃耕作放棄地は増えているのか。圃現在横ばいである。圃耳川林業事業協同組合に2540万円を出資しているが経営状況はどうか。圃平成25年度は黒字決算で、順調に推移している。



ガードパイプ設置工事現場視察の様子

環境水道課

環境衛生費1億858万3668円の主なものは、広域連合東郷霊苑負担金1816万4000円。清掃費2億6657万8788円の主なものは、塵芥処理費1億9674万769円し、尿処理費6983万8019円。圃門川高速バス停の利用状況はどうか。圃利用者はまだ少ない状況にある。圃水道事業については、配水管布設工事、老朽管の布設替え及び取水ポンプの取替等を行い施設の強化を図った。圃本年度の経常利益は3098万8029円で、3051万4683円の純利益が生じた。圃有収水量が前年度より約3万2000m<sup>3</sup>増えているが理由は、圃夏場の晴天が続き、散水等による増加と思われる。

# 一般質問 5人が登場！ 町政を問う！



黒木 裕

## ゴルフ場の再開を

町長 1日も早い再開を願っている



休業中のゴルフ場入口

圃建設に至った経緯などから考えると休業中のゴルフ場の再開を願う。

町長

ゴルフ場のホームページでは、再開について、当初、本年7月頃の予定としていたが、最近の情報では会社の事情による延期が掲載されている。町としても本町の観光振興や雇用などへの影響も考えられるので一日も早い再開を願っている。

圃オーナーと直接話し合いをもつ事はしないのか。

圃現在その予定はないが、延岡市長との話の中では今後の話をしたところだ。

圃教育問題について

圃①土曜授業を実施する考えはないか。

圃教育長 県内では延岡市が北方学園で試行している平日の授業にゆとりが生まれることで、教員が子どもと向き合う時間を確保できるという成果を得ている。課題として教員の週休日の振替の問題、土曜日に活動の社会教育団体、中学校の部活動に係る各種大会等との調整などがある。県や近隣市町村の動きを把握し、参考にしたが今後とも学校の授業や地域における多様な学習、体験活動の機会など、これまで以上に豊かな教育環境を子どもたちに提供できるように、研究していく。

圃②長年続いた「6・3制」を「4・3・2制」や「5・4制」というように区切ってみては。

教育長

圃国の動向を見ながら、小中連携や小中一貫教育のねらいを踏まえた教育の推進に努める。



西門川小・中学校

圃③学校の統廃合について。

教育長

圃西門川小・中学校の統廃合は検討委員会の答申を重く受け止め、4月に西門川各地区の総会およびPTA総会において、地域住民や保護者に方針の趣旨説明を行った。





## エネルギービジョンについて

神崎千香子

### 町長 慎重に対応

**町長** 町は、大震災の後、平成25年までだったエネルギービジョンを24年度に前倒しして25年3月に新エネルギービジョンを改定した。再生エネルギーが産業振興、地域活性化につながるから改定を急いだのではないか。

**町長** 町の姿勢はのんびりで後ろ向きではないか。環境問題での海外視察は何のためだったのか。エネルギービジョン策定にあたっての町長の

**町長** 現在二酸化炭素の排出量などについて各事業所などにアンケートを実施し、「省エネルギー推進委員会」で情報集約や啓発活動を行っている。

また東日本大震災以降、エネルギー事情が不透明なので、国の動向に注視し、慎重に判断していきたい。

**町長** 町は、大震災の後、平成25年までだったエネルギービジョンを24年度に前倒しして25年3月に新エネルギービジョンを改定した。再生エネルギーが産業振興、地域活性化につながるから改定を急いだのではないか。



清掃工場、古紙集積場

**町長** 町は、大震災の後、平成25年までだったエネルギービジョンを24年度に前倒しして25年3月に新エネルギービジョンを改定した。再生エネルギーが産業振興、地域活性化につながるから改定を急いだのではないか。

**町長** 町は、大震災の後、平成25年までだったエネルギービジョンを24年度に前倒しして25年3月に新エネルギービジョンを改定した。再生エネルギーが産業振興、地域活性化につながるから改定を急いだのではないか。

### 企画財政課長

エネルギービジョンについては平成27年度策定したい。

**町長** 町は、大震災の後、平成25年までだったエネルギービジョンを24年度に前倒しして25年3月に新エネルギービジョンを改定した。再生エネルギーが産業振興、地域活性化につながるから改定を急いだのではないか。

考えと策定時期は。

### 町長

町は、大震災の後、平成25年までだったエネルギービジョンを24年度に前倒しして25年3月に新エネルギービジョンを改定した。再生エネルギーが産業振興、地域活性化につながるから改定を急いだのではないか。

### 町長

区長会、町広報などを活用し、地域や団体などから出前講座の要請があれば出向き、周知啓発に努める。

また、資源の分別については、「その他の紙類」が資源品目で詳しく説明されていない所があるので、今後「その他の紙類」について町広報紙などにより周知に努めていく。

### 町長

平成25年度設置目標率は、53・8%であったが、実績率は、58・8%となっており目標率を上回っている。

今後、27年度に設置に対する県補助金分の見直しが見られる予定と聞いていますので、内容を精査し、中間目標年度の27年度末の設置状況も踏まえて検討したい。

### 環境水道課長

普及に関しては職員で対応している。

**町長** 町は、大震災の後、平成25年までだったエネルギービジョンを24年度に前倒しして25年3月に新エネルギービジョンを改定した。再生エネルギーが産業振興、地域活性化につながるから改定を急いだのではないか。

### 環境水道課長

取り組んでいない。なるべく早く協議会を立ち上げるようにしていく。

**町長** 町は、大震災の後、平成25年までだったエネルギービジョンを24年度に前倒しして25年3月に新エネルギービジョンを改定した。再生エネルギーが産業振興、地域活性化につながるから改定を急いだのではないか。

しかし、生活排水計

## 集団フッ化物洗口を実施しては

菊地 稿治



### 町長 実施の自治体及び小・中学校の視察を予定

**町長** 歯・口腔の健康づくりは全身の健康の保持増進に重要な役割を果たしており、口腔機能の低下は、食事・更衣・排泄・入浴等の日常生活活動に影響がでると、そしてその事は虚弱老人を生み、ひいては要介護へと移行していくと言われている。

我が国における歯の喪失の60%は虫歯に原因している。虫歯をなくすには、まず小児期における虫歯予防が大事であるが、そのためには従来行われている歯や口の清掃、甘味の過剰な摂取の制限に加えて、適切なフッ素の応用が必要と考える。

フッ素は歯質を強化し、虫歯になりにくい歯を作るとともに、歯の再石灰化を促進する。

また、成人から老人期にかけて発生しやすい歯根面の虫歯予防にフッ素は大きな効果がある。そこで、本町においても、小・中学校



フッ化物洗口剤

**町長** 小学校での虫歯予防のための取り組みとしては、町内の全小学校、全クラスに平成10年から歯科衛生士を派遣し、歯の衛生教育や、歯磨きの指導を毎年行っている。

また、町内における歯科保健の実態を把握し、必要な対策の推進を図る目的として、23年度に歯科保健推進協議会を立ち上げ、歯科医師や教育長、学校長、保育園・幼稚園の代表者、保護者代表等と交

えてフッ化物洗口の学習やフッ化物利用の検討を重ねている。

フッ化物洗口は、永久歯が生え替わる中学3年生まで継続実施すれば、20歳過ぎまで虫歯予防の効果が持続すると言われているので、小中学校での取り組みを検討するため各学校の代表者の先生方と専門部会を25年度に立ち上げた。

歯科保健推進協議会としては、今年度実際に実施している自治体及び小・中学校の視察を予定している。

今後、学校でのフッ化物洗口の実施の可能性については、協議を進めて参りたい。

### 古紙の回収方法を工夫し、徹底した資源ゴミ化を



小さな紙片の出し方の一例（紙袋に入れ、紐でくくる）

### 町長

本町においては、現在新聞紙や雑誌、段ボール等の古紙は資源ゴミとして回収されているが、メモ用紙、トイレットペーパーの芯などの様な小さな紙片は回収されず、燃えるゴミと一緒に焼却されている。

しかし、このような紙片も町全体から見れば、相当な数量になるものと思われる。そこで、回収方法を工夫し、資源ゴミとして回収すれば、燃えるゴミ

### 町長

今後は、町広報紙などで「その他の紙類」の出し方や分別方法の種類等を明記し、周知に努めるとともに、次年度のゴミカレンダーについても「その他の紙類が資源ゴミである事が分かるよう、さらに詳しく掲載する。

また、並行して、「その他の紙類」の資源ごみステーションでの回収については、受入側の関係機関にも周知していく。

### 合併浄化槽促進

町長 町は、大震災の後、平成25年までだったエネルギービジョンを24年度に前倒しして25年3月に新エネルギービジョンを改定した。再生エネルギーが産業振興、地域活性化につながるから改定を急いだのではないか。

### 町長

現在、精一杯の補助をしていく。

**町長** 町は、大震災の後、平成25年までだったエネルギービジョンを24年度に前倒しして25年3月に新エネルギービジョンを改定した。再生エネルギーが産業振興、地域活性化につながるから改定を急いだのではないか。





## 日向市との合併を目指しては

米良 昭平

町長 考えていない

町長 今のところは考えていない。自立の道に至った経緯を重く受け止めて、町民の機運の高まりに応じ、そのときは町議会とも相談する。

平成の大合併から一定の年数を経過し、住民意識の変化も期待される。日向市は外国船の入港する港があり、工業地帯があり、鉄道高架の駅を持つ、門川と海と港を共有する人口6万人の街。日向市と共に伸びてゆく門川を思い描いて、10年後の門川町民の豊かな生活の土台づくりに向かって、日向市との合併を目指してはどうか。



細島港に入港した豪華客船

### 西門川小中学校の存続を

町長 西門川小中学校の統廃合検討委員会から、6年後に廃校の方向、との答申がなされたらと報告を受けて、9人の議員から意見があり、また町民からも、存続を願う声がある。そこで、以下について尋ねる。



西門川小・中学校合同運動会(H25年度)

町長 ①地域の人達と学校関係者のコミュニケーションは十分だったのか。②教育委員会は、3年後に結論としての議決をするとしているが、越境入学の出来る小中学校として、西門川小中学校の存続について、検討会を開く考えはないか。

町長 地域の灯台であることは理解しながらも、今回の判断は教育上の問題を解消するため、また、地域の意向を十分に踏まえた上で、7年間にわたって協議・検討してきた結果、再度検討する考えはない。

門川町議会

## 『議会報告会』を行います！

11/6 (木) 時間:午後7時～ 場所:西門川総合活性化センター

11/9 (日) 時間:午後1時30分～ 場所:門川町総合福祉センター



## 緊急時の放送音量が小さくて聞き取れないが

水永 正継

町長 デジタル防災行政無線を町内全域に

町長 本町では避難準備情報や避難勧告を発令した場合には、消防団による広報活動、該当地区会長へ電話連絡を行い、地区放送のある区に対しては地区民への周知依頼を図っている。また、各社の緊急速報メールを活用し、携帯電話やスマートフォンにも避難情報を提供している。

町長 勤務時間外の場合の対応は気象庁が観測した情報を本町のJアラートが受け、その情報を本町沿岸部に整備しているMCA防災行政無線から自動的に放送している。



町長 8月29日午前4時過ぎに発生した地震情報は放送の音声が低く聞きとれなかったが、6月議会の補正予算で採決したデジタル防災行政無線を、町内全域整備に向けた研究を行っている。

町長 近年、土砂災害や水害が全国各地で発生し、その規模はますます大きくなり、被害は甚大なものになっている。門川町でも危険が予想されるところはないのか。また、避難の連絡体制は十分か。

町長 本町の土砂災害が心配されるところは、地すべり危険箇所が16箇所。急傾斜地危険箇所が56箇所。土石流の危険が予想される箇所が31箇所。これらの箇所は急傾斜地崩壊対策事業や砂防事業などで対策を行っているが、整備が完了するまでに相当な期間を要するので、土砂災害防止法に基づき、警戒区域や特別警戒区域等を定める作業を県とともに進めている。水害については、大雨時の河川水位・上流の雨量・潮位の状況等に留意しながら適切な情報提供を図っていく。

町長 本町を単なる通過点とさせないために、町の豊かな自然や地域資源を生かした特産品の開発やブランド化、観光資源等を情報発信していくことである。観光資源については門川町のシンボルである乙島の活用、遠見半島周辺の整備、新たな資源の発掘が必要である。企業誘致では、メデイカルバレー構想や県と協働で行う北部九州での企業訪問を通じて誘致、定着を図りたい。また、来年2月には町政施行80周年を迎えるので、来年1年間を通して記念事業等を行い町のPRに努めていきたい。



心の杜近隣公園

町長 心がどがわ温泉「心の杜」公園の遊具施設は、家族連れの子どもなどに人気がある。また、公園のイペの花がとても美しい。遊具施設や遊歩道などを更に充実させてはどうか。

町長 少しずつ手を加えていきたい。



## 人事案件

### 教育委員会委員の任命

委員の辞職により、後任の委員を任命するにあたって、議会の同意を求めるもの。

後任の委員に、

初田 寛氏（新任、五十鈴在住）。

（同意・全員賛成）

## 工事請負契約

### トビノ木橋橋梁下部工事

予定価格が5千万円以上の請負契約により、議会の議決を求めるもの。

契約相手 旭建設（株）

契約金額 6019万9200円

（可決・全員賛成）

## 和解および損害賠償額の決定

かどがわ温泉「心の杜」における入浴中の怪我について、負傷した方との和解およびその方への損害賠償額の決定について、議会の議決を求めるもの。

（可決・全員賛成）

## 条例の制定

平成24年8月に、子ども子育てに関する3つの法律が成立し27年4月に本格的に始動することとなるため、国の基準に従い、本町の基準を定める3つの条例を制定するもの。

## 剰余金処分

### 水道事業会計決算

平成25年度決算の結果、純利益が6051万4683円となったので、同額を減債積立金に積み立てるもの。

（可決・全員賛成）

## 家庭的保育事業等の設置及び運営に関する規程を定める条例

原則として3歳未満の保育を必要とする乳幼児を対象とした4つの事業において、それぞれの事業の職員数や設備・面積などについて、基準を設けるもの。

（可決・全員賛成）

## 意見書

議員発議4件

### 森林整備加速化・林業再生事業の継続を求める意見書

平成21年度に創設された本事業が、26年度で終了することから、事業の継続と森林・林業の再生に必要な財源確保を国に求めるもの。

（採択・全員賛成）

### 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

保護者が日中就労で家庭にいない小学生に対し、放課後の遊びや生活の場を与える事業で、その実施における設備や運営について基準を定めるもの。

（可決・全員賛成）

### 地方財政の充実・強化を求める意見書

平成27年度の地方財政計画、地方交付税及び一般財源総額の拡大に向けて、政府に対策を求めるもの。

（採択・全員賛成）

### 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例

認定子ども園、幼稚園、保育所や家庭的保育事業などの運営に関する基準を設けるもの。

（可決・全員賛成）

### 集団的自衛権行使を容認した「閣議決定」に抗議し、その撤回を求める意見書

本年7月1日の集団的自衛権行使を容認する「閣議決定」の撤回を求めるもの。

（不採択・賛成少数）

## 総務財政常任委員会

### 視察調査報告

平成7月3日から4日の2日間にわたり所管事務調査を熊本県阿蘇市（防災対策）、熊本県御船町（地域公共交通対策）で行った。

### 災害対策について

阿蘇市は熊本県の阿蘇地域のほぼ中央部に位置し人口は約2万8000人、平成24年7月に千年に一度といわれる豪雨により、死者21人を出す甚大な被害を受けた地域です。

現在は、災害の教訓と反省をもとに新たな防災対策の構築と、自助、共助、公助を中心とした市民の防災意識の高揚、自主防災組織の充実を図っている。今回の教訓より夜間の避難は非常に危険であり夜間に警報が出る様な恐れのある時は明らいうちに避難できるように、対策本部の早期立上げ。

待機班の増員、早期に避難所開設し予防的非難を呼びかける。

土砂災害、河川氾濫に係る避難勧告・指示の発令基準があいまいだったものを、観測点別に県発表の土砂災害危険度情報を基に避難勧告・指示発令基準の対象地域別一覧表を作成し、避難基準の明確化と平準化を図った。

### （対策）

・災害対策本部全体の見直し  
・河川堆積土砂の撤去  
・河川断面を広げ改修  
・宅地の嵩上げ  
等の対策を行った。  
避難方法では、豪雨の中で避難は困難であり、夜間の避難指示は特に危険であり、夜間に避難指示を出す可能性がある場合は、早めの避難指示を徹底している、人的被害を減らすには、予防的非難が



阿蘇市



御船町

最も重要だと、今回の災害の教訓を述べられていました。

2社2路線と新たな1社に委託した2路線を並行して運行している。以上調査を終え本委員会としては、本町担当課につき、意見交換を行いました。

近年本町では、人的被害の報告はありませんが、最近の異常気象による集中豪雨や台風等での土砂災害、河川氾濫等による災害が全国各地で多発していることを鑑みて住民の皆さんそれぞれに地域の状況を把握し、他人ごとにならない自覚が大切であると考えます。

地域公共交通対策については、導入に当たっては、無理のない効果的かつ継続性に富んだ制度を導入すべきと委員会として意見の一致をみました。

（記 森）

御船町は熊本県の中央に位置し、世帯数約7000世帯、人口約1万7800人の門川町と同程度の町であり、恐竜の町として有名である。

御船町は、平成19年に公共交通機関としてコミュニティバスを導入しております。導入の経緯は、町内路線バスへの補助金が年々上昇する中、県の地方バス運行等特別対策補助事業が見直しとなり町財政を圧迫しはじめた。町行政の発案で、既存の路線バスに代る新たな交通手段として、運行回数を見直しとバスの小型化を図り、従来の運行形態と同じ形態でコミュニティバスを一社の交通運送事業者へ委託し、現在のバス路線を考えると、



本年7月30日(水) 31日(木)の2日間、佐賀県武雄市にて行政視察を行いました。武雄市は県西部に位置し、人口約5万人の温泉都市です。平成18年3月に1市2町が合併しました。本町の場外車券場「サテライト門川」を運営しています。



武雄市役所議場にて

視察案件は、ICT教育「タブレット端末を活用した授業」、公立学校と民間学習塾との連携による「官民一体型学校」、「市図書館」です。

ICT教育タブレット端末を活用した授業では、平成21年度より電子黒板を導入し、27年度までに各小中学校に100%整備を目標としています。22年度にタブレット端末(iPad)を市内2校456年生を対象に一人一台236台

このタブレット端末を使用したビデオ学習型学習を、26年度より小学3年生以上に導入し、家庭での動画による学習と小テストを実施、翌日学校では「学び合い・教え合い」を中心とした授業を行います。知識習得の効率を上げるとともに、落ちこぼれをつくらぬ学校づくりに取り組んでいます。

民間学習塾の独自の指導方法を積極的に取り入れ、民のノウハウや活力を導入した教育を行う公立小学校で、来年4月開校の予定です。また、新に市・東洋大学・DENAの連携により、「プログラミング教育」を小学校低学年に10月から導入する予定です。

市図書館は、昨年4月に蔦屋書店を運営する企業を指定管理者として、リニューアルオープン。施設内に本の販売、コーヒーチェー



武雄市図書館の館内の様子

以前は20万冊ほどの蔵書のうち、実際に閲覧できるのは半分ほどで、リニューアルを機に、ほぼすべての本を閲覧できるようにし、見たい本が端末機で館内どこにあるか確認できるようになりました。またセルフカウンターの良い図書館を目指しています。市外からの利用者も多く、一日平均の来館者数は、2500人を超え、利用者ど、画期的な取り組みを行っています。

産業建設常任委員会 視察調査報告

平成26年8月7日(8日の二日間、福岡県大木町「おおき循環センター・くるるん」及び宮崎県五ヶ瀬町鞍岡「小水力発電」の視察調査を行った。

大木町「おおき循環センター・くるるん」

大木町は、福岡県南部筑後平野の中央部に位置し、人口約1万4500人。掘割(クリーク)が町の面積の14%を占め、その総延長が215kmもある農業の町である。

「くるるん」は町の中心部にあり、各家庭から集められた生ごみ・し尿・浄化槽汚泥の3つを一緒にメタン発酵槽に入れ、37℃で22日間発酵させる。発酵槽内のメタン菌の働きで有機物を分解し、バイオガス(メタ

ンガス約60%、二酸化炭素約40%)と有機肥料を作り出す。空気のないタンクの中で発酵させるので発酵途中の臭いもありません。大きな特徴である。

メタンガスは都市ガスやプロパンガスに比べて引火性が低く、爆発しにくいガスで、発生したメタンガスは、発電機で電気に変換され、施設内の機器の動力や、照明、給湯器等に利用されている。一方、発酵が終わった消化液は滅菌槽で滅菌され、肥料(液肥)として利用されている。

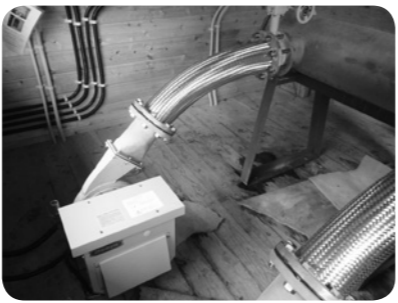
「くるるん」でつくられた有機質や微量成分を豊富に含んだバイオガス液肥は「くるるん」と命名され、水田や畑で農作物を作り、その農作物は各家庭や



「くるるん」メタン発酵槽

学校給食などへ供給される。そうして、生じた生ごみ・し尿・浄化槽汚泥は再び回収され、「くるるん」に帰ってくるという循環型システムになっている。大木町では、1日当たり、し尿7トン、生ごみ3.8トンを回収し、年間6000トンの液肥がつくり出されている。以上、バイオガス循環事業の効果については次のようなものである。

また、大木町は、平成20年に「大木町もつたない宣言」(ゼロ・ウェイスト宣言)を掲げ、徹底したごみの分別回収を行い、平成28年までに「ごみ」の焼却・埋め立て処分をしない町を目指しているということであった。



鞍岡波婦小水力発電施設。5kwの小水力発電機が2基設置されている

五ヶ瀬町鞍岡「小水力発電」

はじめに五ヶ瀬自然エネルギー研究所・五ヶ瀬地域づくり研究所の石井勇所長の説明を受けた。現在の五ヶ瀬町は仕事がない、少子高齢化や子育て世代の孤立化、また、お産をする場所がない等、様々な問題を抱えている。そこで、研究所が目指す事として、五ヶ瀬町を対象にIターン・Uターンの受け入れを促進するための仕組みを開発する、町民全員が研究に参加することで地域を元気にするな



シリーズ

# 地域の力特集

丸バ工会

会長 安田 良一 (会員数12名)

(設立)

平成24年度まで、庵和会としてボランティア活動をしていた、庵川西区、須賀崎区の有志が高齢化し活動が困難になり活動を休止することとなりました。

これではいけないということで、平成24年4月より、有志12人が、新たに、丸バ工会として活動を開始しました。

(目的)

町内及び地区内の清掃活動やボランティア活動を通して、人づくり、街づくりに貢献する。

会員は、庵川西区、須賀崎区の飲み会仲間て名前の由来は、同地区の境にある川の名をとり丸バ工会とした。

門川町ボランティア連絡協議会の会員でもあり、協議会の会員としても活動しています。

(主な活動)

- ・草川小学校と椎葉小学校との交流、砂の造形前の海岸清掃
- ・地区内公園の清掃
- ・社協の夏祭り、福祉ふれあい祭りへの協力
- ・地区行事等、参加協力など

(記 森)

今回は三ヶ瀬地区のひな山を紹介します。



会員皆さん



海岸の清掃活動



敬老会での出し物

## 議会傍聴のご案内

9月定例会には30人の方々が生聴に来てくださいました。次回の定例会は12月です。皆様の傍聴を心よりお待ちしております。お問い合わせ：議会事務局 TEL 63-1140(内線271)

■ 発行者／門川町議会議長 安田茂明  
 ■ 編集／議会広報編集特別委員会  
 〒889-0696  
 宮崎県門川町本町1丁目1番地  
 TEL(0982) 63-1140  
 ■ 印刷／安井株式会社



議会広報編集特別委員会

- |      |       |
|------|-------|
| 委員長  | 朝倉 利文 |
| 副委員長 | 森 誠一  |
| 委員   | 菊地 稿治 |
| 委員   | 森川 春夫 |

第3回定例会が9月22日で閉会となり、一般会計は25年度決算が2億3千万円余の黒字で認定され、その他主な特別会計では国民健康保険事業25億8千万、介護保険事業14億3千万等の決算でありました。

また、全員協議会を開催し、11ページのとり議会報告会を行うことになりました。皆さまの多数のご参加をお願いします。議会に対するご意見をお待ちしております。

編集後記